

田中先生の ワルシャワ通信

第 10 号



平成28年 5月 6日

西山中関係各位

ここワルシャワでも、最近では毎日暖かい日が続くようになりました。

4月8日に3名に先生が赴任し、14日から新年度が始まりました。新しく来られた先生方が、家探しなどを行っている様子を見ると、昨年自分が同様のことをしていたことを懐かしく思います。

さて、先々週の日曜日、みんなで市の中心にあるワジェンキ公園を散策しましたので、それを今回のワルシャワ通信にしたいと思います。

01 の写真は、その公園にあるワジェンキ宮殿です。ここは18世紀にポーランド最後の王の命によって作られた夏の離宮です。ちなみにワジェンキとはポーランド語で「浴場」という意味で、公園内にある離宮に素晴らしい浴場がたくさんあったことから、このように呼ばれているそうです。



02 はこの公園にある植物園です。4月上旬までは、まだまだ寒い日もあったのですが、中旬からはほぼ毎日暖かい日が続くようになり、花もこのように咲き出しました。



03 はこの公園にあるショパンの像です。

ショパンは、「子犬のワルツ」など私たちにも馴染みのある曲を作曲した作曲家で、ワルシャワ近郊の村で生まれました。7ヶ月から20歳までワルシャワで過ごし、その後パリへ活躍の場を移しますが、生まれながら体が弱く、39歳でこの世を去ってしまいます。

この写真の場所では、春から秋にかけて、毎週日曜日にピアノの野外コンサートが行われ、多くの人で賑わいます。



ワルシャワ日本人学校 田中正典